

研究の流れ

①分子設計

②分子合成

③分子評価

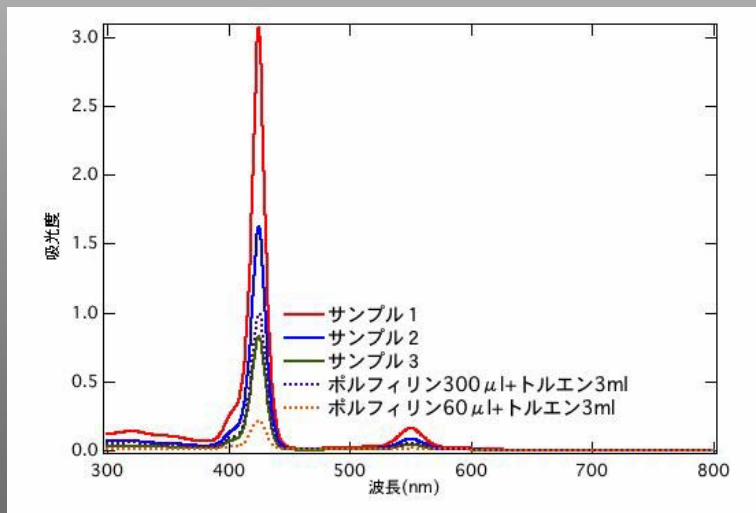
④分子物性測定

②分子合成

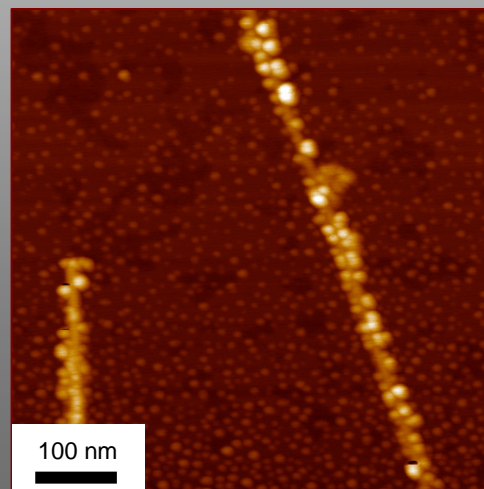


例えば・・・全自動合成装置を使って  
コンピュータ制御で目的物質を作製

③分子評価



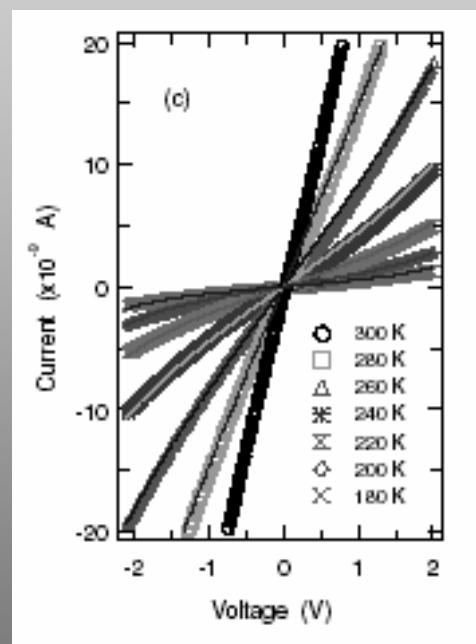
近赤外・可視・紫外分光装置  
を使って生成物質を評価



マイカ基板上に分散した  
単層カーボンナノチューブと  
それに吸着したポルフィリン分子

原子間力顕微鏡を使って  
得られた分子の形状を観察

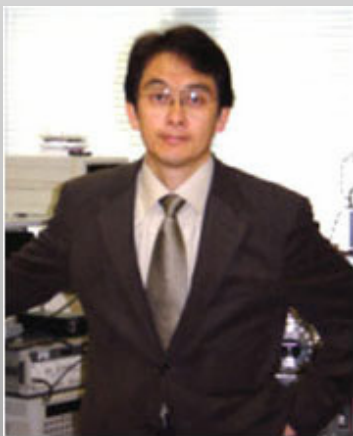
④分子物性測定



極低温プローバーを使って  
分子に流れる微小電流を測定する

# 大学院学生募集!!

総合研究大学院大学 機能分子科学専攻 小川グループ



教授 小川琢治



助手 田中啓文

私たちがスタッフが優しく  
丁寧に指導いたします



南京大講師 黄偉



社会人DC 佐藤弘一